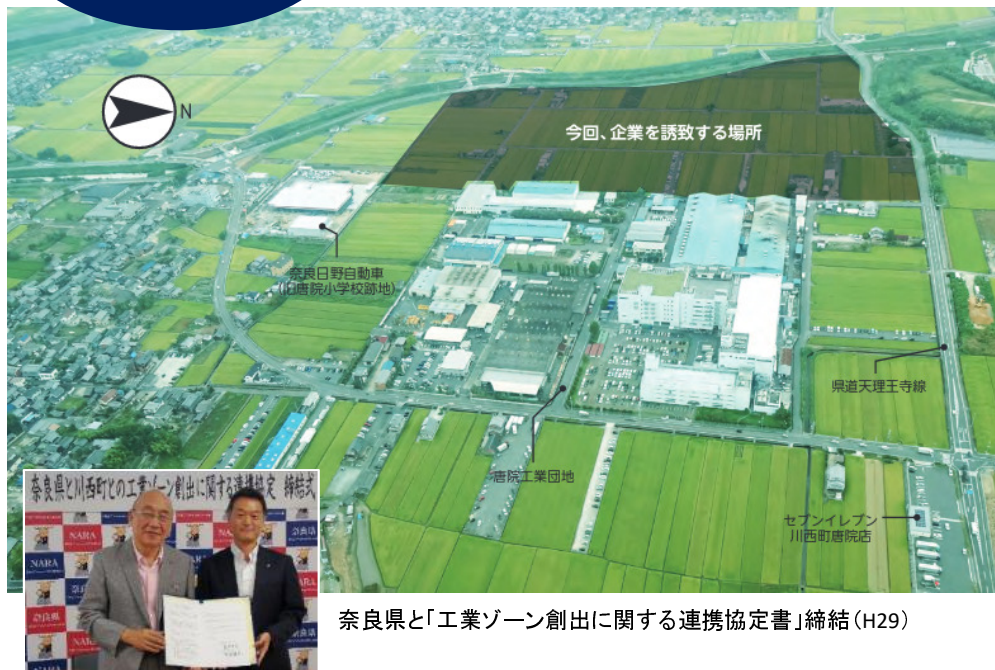


# 川西町

## 工業ゾーン創出事業(唐院工業団地周辺地区整備事業)



奈良県と「工業ゾーン創出に関する連携協定書」締結(H29)

### 1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① オフィスワーカーの都心回帰や全国的な人口減少により、川西町では、これまでのようなベッドタウンとしての人口増加は望めない。「町外へ働きに行きやすい町」から「町内で働くことができる町」「町外から働きに来てもらいやすい町」への転換が必要。
- ② これまでも既存の工業団地周辺への企業誘致を進め、雇用創出を図ってきた。その一方で、立地需要に対して産業用地の供給が間に合わない状況にあった。大規模な産業用地の確保が課題。
- ③ 川西町は、西名阪自動車道などによる物流の利点、鉄道(近鉄・JR)による通勤アクセスの利点が強みである。すでにまとまった工業団地があることも強みといえる。これらの利点をさらに活かすべく「産業用地の創出」による企業誘致活動を推進。
- ④ 重点分野は「雇用の創出」。これを実現するべく「雇用を生む企業」の誘致を重視して事業を進めてきた。

### 2 取組の概要

#### 【企業負担の軽減】

- 川西町には2つの工業団地があり、そのうちの1つである唐院工業団地を拡張(11ha→25ha)。当該エリアを工業専用地域に設定した。
- 土地開発公社で「用地取得」「用地造成」「企業への分譲」を実施。立地企業の募集はオーダーメイド方式を採用。立地企業の希望により分譲区画を整備した。

#### 【これまで流れ】

- 令和元年度：用地交渉完了／企業募集開始
- 令和2年度：用地取得完了／企業と立地協定／造成工事開始
- 令和4年度：企業への分譲予定

### 3 取組みの効果 または 苦労した点や今後の課題

#### 【取組みの効果】

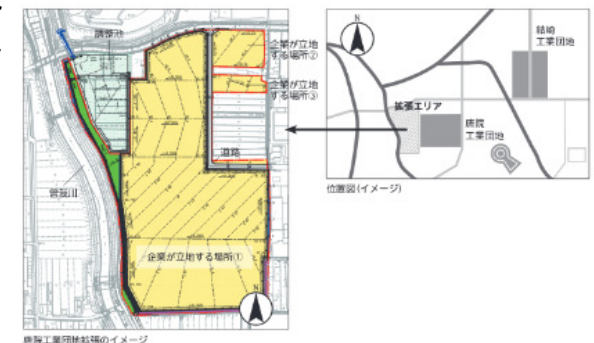
- 分譲面積の97%に企業(2社)を誘致。
  - ・ 協定により、地元住民の雇用を確保
  - ・ 立地による税収確保
  - ・ 仕事を契機とした人の流れの創出

#### 【苦労した点】

- 用地の取得
- 周辺環境の整備
- 事業の採算性確保

#### 【今後の課題】

- 従業員の通勤環境の整備



詳しくは 川西町ホームページ  
<https://www.town.nara-kawanishi.lg.jp/>